

20 陳情 第 14 号	新宿区議会が新宿御苑にミサイル防衛 P A C 3 を配備させないことを求める陳情
付託委員会	防災等安全対策特別委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 20 年 3 月 10 日受理、平成 20 年 3 月 19 日付託
陳情者	新宿区戸山 _____ _____

## ( 要 旨 )

新宿区は平和都市宣言をしています。区民が平和な暮らしが出来るように、新宿区議会が努力されるように陳情いたします。

- 1 平和都市宣言をしている新宿区の国民公園新宿御苑にミサイル防衛 P A C 3 を配備されると、区内の幹線道路などに及ぼす影響も大きく区内全体が極めて不安全的な状況になるので、新宿区はこの配備を止めさせて下さい。
- 2 科学的に現実を分析すれば、日本に弾道ミサイルを打ち込む敵は見当たりません。日本が米軍のミサイル防衛システムに加わることはアジアに新たな緊張を持ち込むことになり危険ですから、これに加わることを避けるように国に意見書を提出して下さい。
- 3 防衛省は新宿御苑でのミサイル防衛 P A C 3 配備のための調査結果も知らせないとのことですが、このことを国民保護法の観点からと容認することは言語道断です。区は国及び東京都に対し、国防という秘密主義を止めさせ、情報の公開を進めさせて下さい。

## ( 理 由 )

- 1 海上自衛隊のイージス艦と民間人の漁船の衝突事故をめぐる防衛省、自衛隊の対応や態度は、どう鼻屑目で見ても漁師や国民を守る立場とかけ離れています。同じように新宿区民と自衛隊の思惑が離れたまま、新宿御苑にミサイル防衛 P A C 3 配備の問題が起きています。  
新宿御苑は国民公園と位置付けられた閣議決定で運用されています。ミサイル防衛 P A C 3 の配備はこの閣議決定に反し、新宿御苑を軍事基地化し、区内の幹線道路などに及ぼす影響も大きく、区内全体が極めて不安全的な状況になります。
- 2 防衛省・自衛隊がアメリカの友といわれて、米軍のミサイル防衛システムに加わることはアジアに新たな緊張を持ち込むことになり、実際には日本は極めて不安全的な状況に追い込まれることになります。ミサイル防衛は巨大な軍需産業のみに利益を生み出しますが国民の利益にはつながりません。ロシアや中国との間に新たな冷戦時代を迎えることになりかねません。
- 3 防衛省が新宿御苑にミサイル防衛 P A C 3 を配備のため、自衛隊員 50 人が車両を運び込み無線の通信状況などを確認する実地調査を行なったことを新宿区民は報道機関を通じて知りました。防衛省は調査結果も知らせないとのことですが、このことを国民保護法の観点からと容認することは言語道断です。かつて国民が旧日本軍の情報操作を鵜呑みにさせられた二の舞いになりかねません。平和都市宣言をしている新宿区民は、

区内に国防という秘密で一杯の防衛省が不気味に聳え、国民公園・新宿御苑を「夜は人の出入りがいいから使用してもいい」と、傍若無人に振る舞うことを認めることはできません。

新宿区議会は毅然として平和を守る立場で、防衛省が新宿御苑にミサイル防衛 P A C 3 を配備しないことを求めることを陳情します。